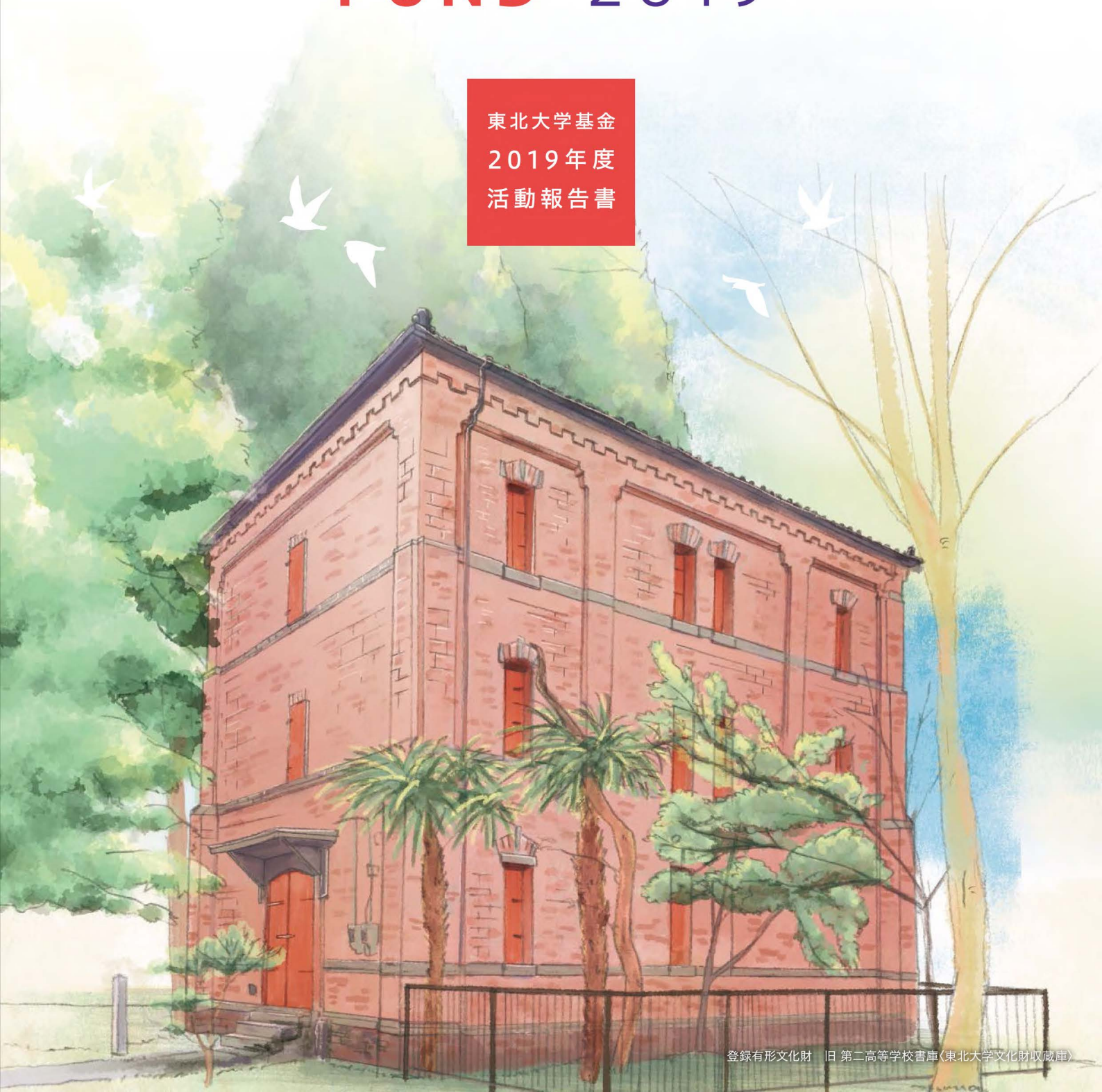




TOHOKU
UNIVERSITY

TOHOKU UNIVERSITY FUND 2019

東北大学基金
2019年度
活動報告書



— 世界トップ水準のキャンパス構築への第一歩に —

『工学部・工学研究科「未来への挑戦」基金』（東北大学 工学部百周年）により 新しいグラウンドが完成しました



グラウンドの詳細について

舗装仕様：全面フラット、人工芝
主な用途：フットサル6面、サッカー1面、
ソフトボール1面、200メートルトラック1面
そのほか：観客席、ナイター設備あり

工学部創立百周年を契機として設立した『工学部・工学研究科「未来への挑戦」基金』は、推進事業の一つとして、指定国立大学法人に相応しいキャンパスの構築を目指し、学生、教職員の修学・就業環境の整備・充実のため青葉山グラウンドエリア整備を行ってまいりました。

この度、青葉山グラウンドエリアの整備が完了し、新しいグラウンドが完成いたしました。

新グラウンドは2019年12月27日（金）に関係者へのお披露目がなされました。

今後、クラブハウスも整備予定で、これから、勉学・研究の合い間にスポーツを楽しむ学生たちの元気な姿が見られることでしょう。



2020年1月撮影

我々が学生の頃から慣れ親しんできた青葉山グラウンドでしたが、青葉山新キャンパス造成や震災被害を受けた建物の改築工事等で、長らく資材置き場と化していました。この度、卒業生をはじめとする皆さまからのご支援のお陰で、長年の懸案事項であった青葉山グラウンドのリニューアルを果たすことができました。ご覧のように、夜になると照明灯の光に人工芝の鮮やかな緑が映える、素晴らしいグラウンドに生まれ変わりました。お披露目後は、早速多くの学生や若手教員達がフットサル等に興じています。心身をリフレッシュし、明日への英気を養うには絶好の場となっています。これもひとえに皆さまによる『工学部・工学研究科「未来への挑戦」基金』へのご支援のお陰です。心から感謝申し上げます。今後も指定国立大学の最大部に相応しい環境整備に活用させて頂きたいと存じますので、今後とも一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。



工学部長・工学研究科長 長坂 徹也

東北大学附属図書館「図書館のみらい基金」

東北大学基金には、学内組織ごとの特色ある活動を支援するための、さまざまな寄附メニュー（特定基金）が設置されています。今回は、東北大学附属図書館の「図書館のみらい基金」について紹介します。

「図書館のみらい基金」について

東北大学附属図書館は、1911年の設置以来、本学における学術情報流通の中核として情報基盤の重要な役割を果たしてきました。蔵書数は国内最大級の約420万冊、国宝2点を含む「江戸学の宝庫」ともいわれる狩野文庫や、文豪夏目漱石の旧蔵書である漱石文庫など、「知の遺産」ともいべき貴重なコレクションも数多く集積し、国内外の多くの研究者に良質な研究資料を提供しています。また、これらの貴重な資料を公開するイベントを定期的に開催して、学生や市民の皆さまにオリジナルな資料が持つ魅力の発信にも力を入れています。

2019年に立ち上げた「図書館のみらい基金」では、これらの活動の一層の充実を図るとともに、貴重な資料を次世代に確実につなぎ、本学の教育研究のみならず一般の社会教育に役立つものとなることをめざしています。

図書館のみらい基金の主な使途

1 市民の皆さま・学生・研究者のためのデジタルコレクション構築と公開

古典資料や貴重書を中心に、原本との比較研究にも対応する高精度な画像データを作成し、オンライン上でいつでも利用できるようにします。



附属図書館所蔵 狩野文庫「百鬼夜行絵巻」

3 図書館設備の充実、資料の保存・修復

学生をはじめとする来館者の皆さまが安心・安全に利用できるよう館内設備を充実させるとともに、資料をより良い状態で保管できる環境を維持します。



附属図書館本館グローバル学習室

特典 展示イベント案内等のほか、功労賞以上を受賞の方は校友会永年会員にご登録いただくことで本館をご利用頂くことが可能です。

2 貴重資料に関する各種イベント開催

貴重書展示会や講演会等を開催するとともに、貴重書に関する解説資料やウェブサイトの充実に取り組みます。



企画展でのワークショップ「金属活字組版の実践」

4 人材育成

デジタル化や研究データ等の取扱いに習熟したスキルを持つ職員を育成するほか、本学学生や高校生を対象とした学術情報リテラシー習得支援を行います。



学生向けガイダンス「情報探索のススメ」

附属図書館×東北大学基金 Collaboration！

クラウドファンディングに挑戦：「漱石の肉筆を後世へ！漱石文庫デジタルアーカイブプロジェクト」

東北大学附属図書館が所蔵する「漱石文庫」は、夏目漱石の手帳、メモ等の自筆資料と漱石の旧蔵書からなります。そのコレクションには、漱石の肉筆が数多く遺されており、漱石の創作過程を知ることができる第一級の資料です。しかし、酸性紙であったり、鉛筆書きの書き込みも字が薄くなっていたりと、閲覧・公開、さらには保存が難しくなっていました。そこで、この「漱石文庫」を最新技術によりデジタル化し、アーカイブとして後世に残すためのクラウドファンディングに挑戦しました。2019年11月5日から12月26日までの52日間で、200万円を目標としてスタートし、最終的に当初の目標を大きく上回る、217名の方から4,687,000円のご支援をいただくことが出来ました。デジタル化の作業は2020年4月から撮影を開始し、12月に公開予定です。今後の進捗状況についてはREADYFORのプロジェクトページや図書館のウェブサイトなどでも発信してまいります。たくさんのご支援、誠にありがとうございました。



撮影風景

図書館ツアーを開催 ～感謝のつどいオプションルツアー～

2019年7月23日（火）、川内南キャンパスの附属図書館本館を会場に「令和元年度東北大学基金感謝のつどい」の参加者を対象とした見学会を行いました。特別展示会では、狩野文庫から国宝「類聚国史巻第廿五」、漱石文庫から漱石の詳細な書き込みのあるニーチェ著「ツァラトゥストラかく語りき」英訳書や「吾輩は猫である」序文の原稿、秋田家史料から豊臣秀吉書状、伊達政宗書状、徳川家康黒印状、森潤三郎氏旧蔵米原文書から織田信長朱印状、与謝野晶子宛書簡など、図書館コレクションの中でも選りすぐりの貴重な資料を展示しました。また珍しいところでは漱石のデスマスクや名刺入れも展示しました。

展示会の後には館内見学会を行いました。和漢籍等20万点を収蔵する国内有数の規模の狩野文庫・古典資料書庫や、130万冊を納めた地下書庫、最新のアクティブラーニング対応の学習スペースなども御覧いただき好評を得ました。



柳原前副館長によるギャラリートーク 古典資料書庫



コラム 森鷗外と東北大学

文学部長・文学研究科長／前附属図書館副館長 柳原敏昭

東北大学附属図書館の代表的コレクションといえば、漱石文庫が思い浮かびます。しかし、図書館に夏目漱石と双壁をなす文豪、森鷗外ゆかりの品が収められていることはあまり知られていません。

それは「森潤三郎氏旧蔵米原文書」（以下、「米原文書」といいます。森潤三郎は鷗外の末弟です。書誌学・歴史学の素養があり、鷗外の史伝小説の執筆を支えました。「米原文書」は米原氏伝来の古文書群で、潤三郎の妻静が実家から携えてきたものでした。なぜそれが図書館に入ったのでしょうか。

「米原文書」は1965年に当時、本学医学部教授だった森富先生から図書館に寄贈されました。森先生は鷗外長男於菟のご子息で、鷗外の孫に当たられます。森先生は事情があって、潤三郎・静夫妻の跡取りとなり、「米原文書」も受け継がれていました。それをご寄贈になったというわけです。

米原氏は、はじめ出雲の戦国大名尼子氏に仕え、近世には石見国津和野藩士となりました（森鷗外の家は代々、津和野藩典医）。そうした歴史を反映して「米原文書」には、中世・近世の古文書が豊富にあります。また、コレクターであった潤三郎の収集品も数多く含まれています。有名どころでは尼子勝久、足利義詮（室町幕府二代将軍）、織田信長の古文書があります。

このように附属図書館には鷗外との縁もあったのです。ところで、漱石は羊羹が大好物でした。附属図書館は2007年と17年に、製菓会社と協力して「漱石羊羹」を製作・販売しています。一方、鷗外は饅頭茶漬を好みました。甘い饅頭を白いご飯に乗けて煎茶をかけるというものです。私は図書館がプロデュースして、「鷗外饅頭茶漬セット」を売り出すことを提案していますが、残念ながら実現していません。



天正3(1575)年11月7日「織田信長朱印状」（森潤三郎氏旧蔵米原文書）
掲載にあたっては東北大学附属図書館の許可を得た。

学生の修学・研究を支援（奨学金制度を実施している基金について）



東北大学基金では学生が経済的理由により修学・進学・研究を諦めることのないよう、返済不要の奨学金制度を設け、学生の経済的支援を実施しています。

奨学金制度を実施している主な基金

修学支援基金

経済的に困難のある学部学生を対象とした給付型奨学金制度を実施。

●主な支援内容

給付型奨学金の支給/入学料・授業料の免除など

●2019年度支援実績

「東北大学 元気・前向き基金」奨学生数

50 名

※修学支援基金の奨学金制度の呼称

博士課程支援基金

優秀な学生が不安なく研究活動に専念できるよう博士学生対象の給付型奨学金の支給や研究費・留学経費の助成を実施 ※博士課程支援基金内に産学共創大学院プログラム支援と国際共同大学院プログラム支援があります。

●主な支援内容

給付型奨学金の支給/研究助成費の支給/留学経費の助成 等

●2019年度支援実績例

「グローバル萩博士学生奨学金」奨学生数

300 名

（うち東北大学基金より100名を支援）

■ 奨学生の声

2019年度「東北大学元気・前向き奨学金」による奨学生（修学支援基金）

「東北大学元気・前向き奨学金」を支援して下さる皆さま、誠にありがとうございます。私の家族は4年前の夏に末の妹が生まれ、両親と兄弟7人での暮らしとなりました。私は長男で、大学に進学することに迷いもありました。私の実家は自営業ですが、あまり余裕のある暮らしではありません。結局周りの勧めもあり進学したのですが、罪悪感と不安を抱えた大学入学となりました。

入学後は生活費のためアルバイト活動に精を出しました。不満はありましたが、かといって投げ出すことも出来ず、時間と気力の削られていく日々でした。

「元気・前向き奨学金」が決まったのが就職活動に取りかかった時期で、それに伴い減少したアルバイト収入と勉強時間をどうしようかと考えていた時期でした。私のような寄り辺の少ない者にとって返済義務のない奨学金はこの上ないもので大変救われました。

現在はアルバイト活動を減らし、就職活動に取り組んでいます。また、昨年は弟の大学入学金も支払うことが出来ました。皆さまからの支援が無ければ、私の大学生活はもっと窮屈で、学びは最低限のものになっていたと思います。もうすぐ必要な単位を取り終え、第一志望の研究室で卒業論文の作成に取り組むことができます。私が望むように大学生活が送れているのは奨学金のおかげです。この活動が金銭的な援助を必要とするすべての学生のために続くことを祈っています。

文学部3年 安野 初志さん



2019年度「グローバル萩博士学生奨学金」による奨学生（博士課程支援基金）

この度は、奨学金のご支援をいただき、誠にありがとうございます。私は、地球温暖化に代表される環境問題に強い関心があり、地球環境の現状を正しく理解することを志して本学の大学院に進学しました。現在は、観測記録の乏しい時代の環境を復元する研究に取り組んでいます。研究の関係上、学外実験施設への出張があることや家庭の事情も重なって、アルバイトで生活費や学費の一部を補填するつもりでしたが、奨学金のご支援をいただいたことで研究に集中して取り組むことが出来ました。また、研究を通して培った知識やスキルを社会で役立てることができるように企業の方々と意見交換できる場へ積極的に参加し、自身のキャリアについてしっかりと向き合い、考える時間を取ることができました。現在は、今までの研究成果を学術論文として発表するため、研究に精力的に取り組んでいます。皆さまにご支援をいただいたことに恥じぬよう、これからも研究に真面目に取り組み、社会に貢献することができる人材となれるように努力致します。最後になりましたが、ご支援くださった全ての方々に心より感謝申し上げます。

理学研究科 地学専攻 博士課程1年 S.O.さん



学生の課外活動を支援（課外活動奨励賞、学生団体の企画事業等に対する助成）



毎年、課外活動で優秀な成績を収めた団体や、本学もしくは地域社会に多大なる貢献をした団体に「課外活動奨励賞」を授与しています。受賞団体には賞状と奨励金が贈られています。また、学生団体が実施する特定の企画事業に対しての助成も行っています。2019年度の授与式では大野総長より寄附者の方々の「東北大学のために、学生のために、ぜひ役立ててほしい」という想いが語られ、大切に使う、寄附者の方々に皆さんの活躍している姿を届けて欲しいとの激励の言葉とともに、表彰状が贈られました。

2019年度課外活動奨励賞受賞団体一覧

計 18 団体

落語研究部/アカペラコーラス部/陸上競技部/ラグビー部/卓球部/漕艇部/フェンシング部/応援団/ボディビル部/アメリカンフットボール部/オリエンテーリング部/男子バレーボール部/相撲部/かるた会/コントラクトブリッジ/ SCRUM/競技麻雀同好会/Tohoku INVENTOR実行委員会

2019年度「学生団体の企画事業等に対する助成」選出団体一覧

計 17 団体

写真部/書道部/漕艇部/ヨット部/アメリカンフットボール部/レーシングカート部/報道部/かるた会/ FROM THE EARTH/陸前高田応援サークルほかほか/SCRUM/福興youth/インクストーンズ/学問と社会をつなぐサロン/東北大学ボランティアサークルたなぼた/国際ボランティア団体As One/工学部:SELECT(宇宙エレベーターチャレンジトーホク)

■ 受賞団体のお礼の言葉

学友会ラグビー部 課外活動奨励賞受賞

この度は私たちの為に多大なるご支援を賜りまして誠にありがとうございます。私たち学友会ラグビー部は、東北リーグ1部に所属しており、東北リーグ優勝を目標に掲げ、総勢57名で日々熱心に活動しております。学生が主体となって部の活動・運営をしているとはいえ、多くの方々によるご支援があって初めて、私たちはこのように高い目標に向かって活動することが出来ていると考えております。部員一同、皆さまへの感謝の気持ちを胸に毎日の練習に取り組んでおります。

今回皆さまに頂いた奨励金を活用し、ラグビーボールを購入致しました。ラグビーボールは消耗が激しく、劣化したボールでは効率の良い練習が出来ません。そのため新しいラグビーボールを購入し、限られた時間の中でも目標にコミットした練習を行っております。今年度はリーグ戦優勝という目標は達成できなかったものの、最終的に東北リーグ2位という結果を得て、2年連続で全国地区対抗大学ラグビーフットボール大会への出場権を獲得することが出来ました。私たちは皆さまのご支援のおかげで、良い環境で練習・試合を行うことが出来ています。しかしこのような環境を当たり前ものと考えず、感謝の気持ちを忘れずに活動し、結果という形で皆さまへの恩返しをしていきたいと思っております。今後ともご支援のほど、どうぞよろしくお願い致します。



八戸学院大戦の様子

東北大学学友会写真部 企画事業助成対象団体

この度は、東北大学学友会写真部をご支援くださり、誠にありがとうございました。今回の助成金は、当部実施の六月展(会期:2019年6月29日(土)~7月3日(水))における作品制作のためのフィルム代等、および会場使用料として活用させていただきました。今年度の六月展は例年以上に作品数が多く、また企画展「色彩展」にて約70作品にもなる写真を展示することとなりました。作品はデジタルからフィルムまで、バリエーション豊かな展示となりました。数多くの作品を展示することができたのは、皆さまからのご支援によるものです。心より感謝申し上げます。

この展示会を通じ、皆さまに普段の活動の成果をお見せすることができたと感じています。展示会前には多くの部員が構図や色味、写真用紙などにこだわりを持って作品作りをしています。そのこだわりを展示会でお見せすることができるのは、皆さまからの支援のおかげです。本当にありがとうございます。日々の活動の中でも、部員一人一人がよりよい作品を作れるよう取り組んでいます。今後もこれから開催される展示会等に向け、部員一同精力的に活動していく所存です。展示会を実りあるものにするため、引き続きご支援いただけると幸いです。

皆さまからのご支援により、今年度も無事に作品展を開催することができました。私たちの活動にご理解いただき、寄附をしていただいたことにつきまして、改めてお礼申し上げます。



六月展(2019年開催)での集合写真



東北大学基金では2019年度も多くの特定基金が立ち上がりました。ここでは「東北大学コミュニティ」を支える「東北大学校友会支援基金」と「東北大学学友会支援基金」をピックアップしてご紹介します。

東北大学校友会支援基金 ～東北大学コミュニティ発展のために～

校友会会員数

約 **17.4** 万人
(うち有料会員約1万人※)

※東北大学の学部卒業生・研究科の修了生等(約15万人)、東北大学の在校生(約1万8千人)、東北大学の教職員(約6千人)、また東北大学の在校生の保護者のうち本会に入会し会費を納入いただいた方が会員となっております。

主な用途

- 1 校友会会員向け事業の企画実施
- 2 連携する基礎同窓会との協力事業の企画実施
- 3 東北大学との協力事業の企画実施(ホームカミングデー、東北大学懇談会等)

●本基金にご寄附いただいた金額に応じて、校友会プレミアム会員資格が付与されます。



校友会マスコットキャラクター：シュとユウ

東北大学学友会支援基金 ～学生の課外活動を応援します！～

東北大学学友会所属団体数

188 団体

※文化部26団体/体育部49団体/報道部1団体/文化部準加盟団体60団体/体育部準加盟団体34団体/文化部登録団体15団体/体育部登録団体3団体

主な用途

- 1 新入生歓迎会、大学祭等の学友会行事等の運営支援
- 2 学友会登録団体への活動支援
- 3 会員サービスの充実(行事の支援として貸出用物品の充実)



ヨット部：北日本オープンヨットレースの様子



交響楽部：定期演奏会の様子



漕艇部：北海道大学東北大学漕艇定期戦の様子

東北大学は、クラウドファンディングサービス「READYFOR」を運営する READYFOR 株式会社と東北地方の大学では初となる業務提携を結び、本格的なクラウドファンディングの取組みを始動させました。2019年度は計4件のプロジェクトにチャレンジし、全て目標を達成することができました。

■各プロジェクト紹介

プロジェクト1 東北大学理学部「ぶらりがく for ハイスクール」を開催！ 東北大学理学部・大学院理学研究科

■支援総額 **728,000** 円
■ご支援件数 **72** 件
■目標達成率 **121%**
(目標金額: 600,000円)
■募集期間 2019年7月3日～8月9日

未来の科学の発展を担う科学者を目指すきっかけを与えることを目的としたサイエンスイベント「ぶらりがく for ハイスクール」運営のためのご支援を募りました。イベントには高校生83名、同伴の保護者37名が参加し、頂いたご支援は優秀な課題レポートに対する「ぶらりがく for ハイスクール奨励賞」贈呈費用のほか、イベント運営のための学生ティーチングアシスタント雇用やレポート印刷などの経費に活用させて頂きました。



「ぶらりがく for ハイスクール」開催の様子

プロジェクト2 東北大学病院オリジナルレシピ「野菜を食べる副菜レシピ」を広めたい！ 東北大学病院栄養管理室

■支援総額 **3,422,000** 円
■ご支援件数 **340** 件
■目標達成率 **114%**
(目標金額: 3,000,000円)
■募集期間 2019年11月5日～12月26日

東北大学病院の広報誌「hesso(へっそ)」の人気レシピコーナーをまとめた本製作のためのご支援を募りました。野菜不足の現代に、おいしく手軽に野菜を摂ってもらいたいと、東北大学病院の栄養管理室のメンバーが考え続けてきた珠玉のレシピの数々をまとめた渾身の一冊です。いただいたご支援は、レシピ本「東北大学病院の野菜を食べる副菜レシピ54」の製作費、また、オリジナル食器などのリターン作製等に活用させて頂きました。



完成したレシピ本と返礼品のオリジナル食器

プロジェクト3 漱石の肉筆を後世へ！漱石文庫デジタルアーカイブプロジェクト 東北大学附属図書館

■支援総額 **4,687,000** 円
■ご支援件数 **217** 件
■目標達成率 **234%**
(目標金額: 2,000,000円)
■募集期間 2019年11月5日～12月26日

※「漱石の肉筆を後世へ！漱石文庫デジタルアーカイブプロジェクト」詳細はP4にて紹介しています。

プロジェクト4 心の病がある方もない方も共有できる体験を。「春の茶会」継続へ 東北大学大学院医学系研究科 精神看護学分野

■支援総額 **630,000** 円
■ご支援件数 **77** 件
■目標達成率 **126%**
(目標金額: 500,000円)
■募集期間 2020年2月14日～3月25日

お茶会でのおもてなしを通した心の病を持つ方のリハビリテーションと、心の病についての理解促進のために、毎年春に開催している「春の茶会」イベント開催のためのご支援を募りました。今年3月に予定していたイベントは新型コロナウイルス感染症の影響により残念ながら見送りとなりましたが、頂いたご支援は次回以降の開催費に活用させて頂き、より良いリハビリテーションと支援活動、そして偏見のない社会を考える活動に引き続き尽力してまいります。



2018年に開催したお茶会の様子

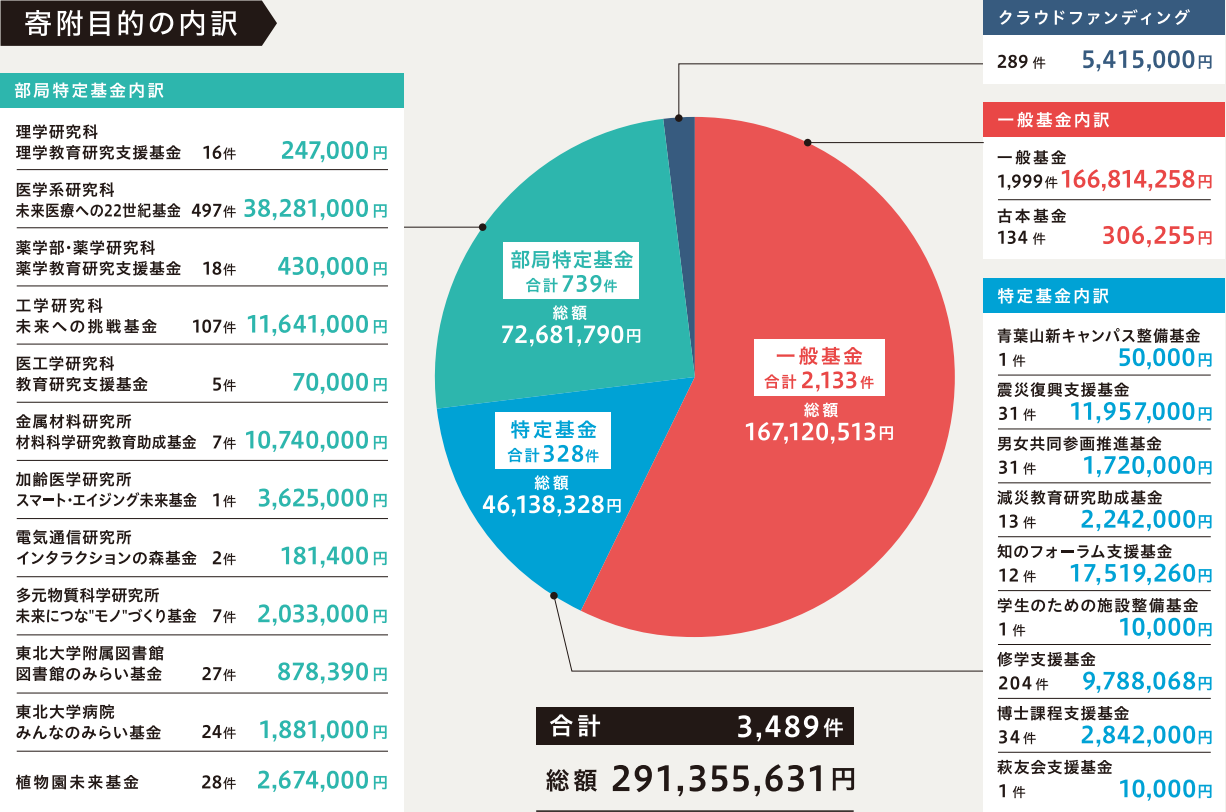
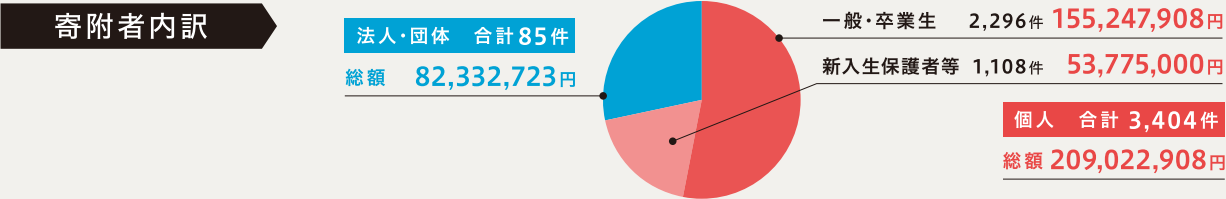
東北大学基金実績報告

東北大学基金に貴重なご寄附をお寄せいただきまして誠にありがとうございます。皆さまのご寄附は、教育・研究の充実、キャンパス整備、学生支援などに有効に活用しています。

これまでの累計(2008年度～2019年度)	
申込件数	13,723件(うち 遺贈による寄附:3件)
寄附金収入	4,465,072,566円(うち 遺贈による寄附:1,556,786,550円)

2019年度受入について

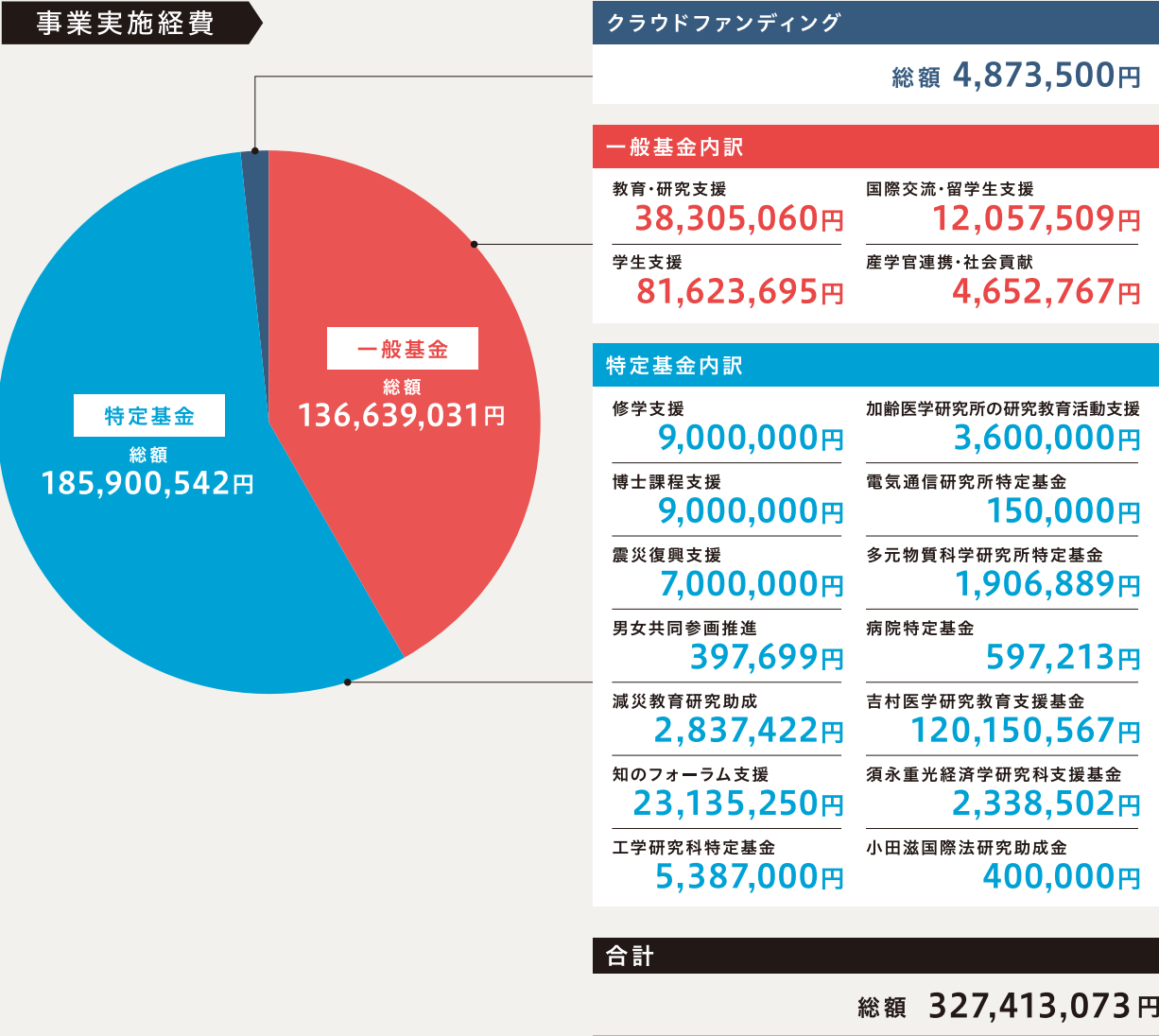
2019年度は**総額291,355,631円**のご寄附をいただきました。
※外貨による寄附を含む(30,000 スイスフラン:日本円換算額3,301,200 円、126,000 オーストラリアドル:日本円換算9,472,680 円)



2019年度支出について

2019年度は以下の事業の支援に活用させていただきました。

東北大学を支援 (一般基金)	● 教育・研究への助成、施設整備の向上 ● 学生の海外留学への支援 ● 学友会などの課外活動への助成 ● 同窓生・地域社会とのつながり
特定のプロジェクトを支援 (特定基金)	● 修学支援 ● 震災復興支援 ● 減災教育研究助成 ● 部局の研究教育活動支援 ● 博士課程支援 ● 男女共同参画推進 ● 知のフォーラム支援 ● クラウドファンディング



今後とも本学の使命にご理解・ご賛同いただき、東北大学基金へご支援を賜りますようお願い申し上げます。

寄附者顕彰と感謝への取り組み

賞の贈呈

ご寄附の総額に応じて、賞を贈呈しています。東北大学基金創設以来の賞の贈呈実績(累計)は以下の通りです。

賞	個人	法人・団体	個人数(累計)	法人・団体数(累計)
荣誉功労賞	3,000万円以上	1億円以上	5	2
特別功労賞	1,000万円以上	5,000万円以上	8	2
功 労 賞	100万円以上	1,000万円以上	104	7
特別功績賞	50万円以上	500万円以上	46	9
功 績 賞	10万円以上	100万円以上	706	36

(2020年3月末現在)

報告1 感謝のつどいを開催しました (仙台:7/23 東京:8/28)

前年度末までに功績賞以上を受賞された寄附者の皆さまをお招きし、本学へのご支援への感謝をお伝えしている「東北大学基金 感謝のつどい」を2019年度も開催しました。例年、仙台のみの開催でしたが、仙台に加え今回初めて東京で開催する運びとなり、両会場ともに多数の寄附者の皆さまにご参加いただきました。

仙台会場ではオプションツアーにて、東北大学附属図書館が誇る国宝や狩野文庫などからの普段なかなか見られない貴重な資料の数々をご紹介します見学会を、東京会場ではティーパーティーを開催し、東北大学川渡フィールドセンター産のブルーベリージャムを使用したオリジナルスウィーツを提供するなど、会場ごとに志向を凝らし、皆さまにお楽しみいただきました。



報告2 寄附者 齊藤宏様に紺綬褒章が授与されました

東北大学基金に多額の寄附をされた齊藤宏様(1962年工学部卒業)へ紺綬褒章が授与されました。

齊藤様は本学在学中に漕艇部に所属し、1960年のローマオリンピックに本学のエイトクルーが日本代表として参加した際のメンバーの一人でもありました。日本のオリンピック代表チームとなるまでに部活動に打ち込めたのは、先輩方の支えがあったからこそと、その恩返しを自分も後輩たちにしたいとの思いで、漕艇部への多額のご寄附と、青葉山新キャンパス等に多数の桜をご寄贈いただいています。

齊藤様は、本学関係者等が見守るなか、和やかな雰囲気の中で褒章と褒章記を受け取られ、「後輩たちにはますます頑張ってもらいたい」と学生たちへの激励の言葉を述べられました。紺綬褒章とは…公益のために多額の私財を寄附した方に国から授与されるものです。(国、地方公共団体又は公益団体に対する寄附が授与の対象となります。)



お知らせ Information

現在募集中の基金

〈大学全体を支援〉

- 一般基金
 - 教育・研究への助成
 - 施設設備の向上
 - 学生の海外留学支援
 - 同窓生・地域社会との繋がり
 - 学友会などの課外活動の推進

〈特定プロジェクトを支援〉

- 修学支援基金
- 博士課程支援基金
- 東北大学校友会支援基金
- 東北大学学友会支援基金
- 減災教育研究助成
- 知のフォーラム TFCフレンド
- 男女共同参画推進
- 震災復興支援
- 青葉山新キャンパス整備
- 原子力災害からの復興に向けた研究支援

〈学部・研究科等を支援〉

- 理学部・理学研究科 理学教育研究支援基金
- 医学部・医学系研究科 未来医療への22世紀基金
- 薬学部・薬学研究科 薬学教育研究支援基金
- 工学部・工学研究科 みらいへの挑戦基金
- 医工学研究科 教育研究支援基金
- 金属材料研究所 材料科学研究教育助成基金
- 加齢医学研究所 スマート・エイジング未来基金
- 流体科学研究所 流体科学支援基金
- 電気通信研究所 インタラクシヨンの森基金
- 多元物質科学研究所 未来につなぐ“モノ”づくり基金
- 東北大学附属図書館 図書館のみらい基金
- 東北大学病院 みんなのみらい基金
- 未来科学技術共同研究センター 産業創出支援基金
- 学術資源研究公開センター 植物園未来基金

東北大学基金オフィシャル動画がついに完成！

東北大学基金のオフィシャル動画が完成しました！
動画では皆さまからのご支援にて修学・研究・課外活動に邁進する学生の姿をクローズアップしています。皆さまからの寄附により、充実した学生生活を過ごし、これからの未来、世界へと羽ばたいていく、躍動感あふれる学生の姿をご覧ください。



YouTube
東北大学
公式チャンネル

東北大学基金のオフィシャル動画は
東北大学基金WEBサイト(<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kikin>)または
YouTube内東北大学公式動画(https://youtu.be/wJBpl3FW_xs)よりご覧いただけます。

東北大学社会連携コンシェルジュが着任しました

この度、東北大学における初の東京常駐の社会連携担当として着任いたしました。
関東圏を中心に、本学に愛校心や関心を持って下さる方のためのコンシェルジュ的存在として、皆さまとの連携を深め、本学の教育・研究の強化、ひいては社会の発展の役に立てればと思っています。
連携の形は、校友会員として、またご寄附やその他の協同など様々です。社会とともにある大学としての本学の最先端の創造と大変革への挑戦に、ぜひご参加下さい！



東北大学総務企画部 社会連携課基金係 専門職員(ファンドレイザー) 平野 尚也

今回の表紙絵

登録有形文化財
旧 第二高等学校書庫
〈東北大学文化財収蔵庫〉

建 築 年：明治43年／平成24年改修
構造階数：煉瓦造3階建
延床面積：83㎡

History

旧制第二高等学校の敷地内に書庫として建てられた建物。
現在は文化財収蔵庫として、東北地方を中心とする旧石器時代から近世までの資料が収蔵されている。明治維新後、全国に建てられた煉瓦造建築の歴史を今に伝える仙台唯一と思われる遺構であり、貴重な都市財産となっている。

昭和33年撮影

東北大学基金 2019年度Topics

2019年6月

- 「第3回相続・遺言セミナー」を開催
※東京初開催(6/30)

相続・遺言セミナー

6/30 9/28

今年度も東北大学基金では遺贈寄附サポートセンター主催のもと第3回、第4回の「相続・遺言セミナー」を開催しました。東京初開催の「第3回相続・遺言セミナー」では約70名の方にご参加いただきました。講師の先生に具体的な例をあげ詳しくご講演いただいたことで、多くの参加者の方にご興味を持ってご聴講いただきました。



2019年8月

- 「元気・前向き奨学金(経済的困窮学部学生対象奨学金)」前期分を給付
- 「グローバル萩博士課程奨学金」を給付 100名
- 「スタディアブロード奨学金」(SAP・FL)*の実施
※SAP(スタディアブロードプログラム)…長期休暇を利用した短期海外研修 22名(7~8万円)
FL(ファカルティレッド)…教員引率型の短期海外研修 5名(6~8万円)
合計で27名に6~8万円(地域により異なる)を助成
- 令和元年度第1回「東北大学基金グローバル萩海外留学奨励賞授与式」を開催(8/8)
- 秋の味覚プレゼントキャンペーンを実施(8/15~10/31)
- 「東北大学基金感謝のつどいin東京」を初開催(8/28) >> P11

2019年9月

- 「第4回相続・遺言セミナー」を開催(9/28)
- プラスチック・スマート推進宣言プロジェクト「Tohoku University x thermo mug スマートエコボトル」第1弾販売開始(9/28)

2019年10月

- 特定基金「博士課程支援基金 産学共創大学院プログラム支援」を設置

2019年7月

- 「令和元年度東北大学基金課外活動奨励賞授与式」を開催(7/2)
- クラウドファンディングをプレスタート『東北大学理学部「ぶらりかく for ハイスクール」』(7/3~8/9) >> P08
- 「東北大学基金感謝のつどいin仙台」を開催(7/23) >> P11
- 基金運営委員会を開催(7/4)

2019年度特定基金

2019年度も多くの特定基金が設置されました。特定基金へのご寄附は寄附者様のご意向を尊重して各プロジェクトの支援に反映させていただいております。新たな特定基金に加え既存の特定基金におきましても、今後とも各プログラムのご理解、ご支援よりよろしくお願いいたします。

【2019年度新たに設置された特定基金:計7件】

〈特定プロジェクトの支援〉

- 博士課程支援基金産学共創大学院プログラム支援(10/1)
- 東北大学萩友会支援基金(2/1)
- 東北大学学友会支援基金(2/1)
- 原子力災害からの復興に向けた研究支援基金(3/19)

〈学部・研究科等の支援〉

- 薬学部・薬学研究科 薬学教育研究支援基金(2/1)
- 流体科学研究所 流体科学支援基金(3/1)
- 未来科学技術共同研究センター産業創出支援基金(3/1)

東北大学全体のTopics

2019年4月

- 梅津理恵准教授(金属材料研究所)が第39回猿橋賞を受賞(4/15)
- 「次世代放射光施設キックオフのタベ」を開催(4/21)

2019年6月

- iPS細胞でALSの新規病態発見一早期治療標的への応用に期待(6/29)

2019年9月

- 室温動作スピントロニクス素子で量子アニーリングマシン機能実現(9/19)
- 第58回七大学総合体育大会で3連覇(9/21)

2019年10月

- データ駆動科学・AI教育研究センターを設置(10/1)

貧食カレー第二弾「怒髪天カレー」を復刻

12/20

川内第2食堂(1967~2008年)の名物メニューで、学食史上最も辛いカレーとして1990年代から食堂閉店まで学生の舌を虜にした「怒髪天カレー」が、当時の店長監修のもと貧食レトルトカレーシリーズの第2弾として復刻し発売しました。

発売日当日には無料試食会も開催し、多くの卒業生に来ていただいたほか、発売後はTVや新聞などでも取り上げられました。



2019年度は普通カレーと併せて8,942個販売。
東北大学生協より東北大学基金に214,343円寄附されました。

2019年12月

- 令和元年度第2回「東北大学基金グローバル萩海外留学奨励賞授与式」を開催(12/10)
- 復刻カレー第2弾「川内第2食堂 怒髪天カレー」を発売(12/20)

2019年11月

- 「東北大学xREADYFOR」クラウドファンディングを本格始動 >> P08
- ①『東北大学病院オリジナル「野菜を食べる副菜レシピ」を広めたい!』(11/5~12/26) >> P08
- ②『漱石の肉筆を後世へ! 漱石文庫デジタルアーカイブプロジェクト』(11/5~12/26) >> P04
- プラスチック・スマート推進宣言プロジェクト「Tohoku University x thermo mug スマートエコボトル」第2弾販売開始(11/5)

東北大学「プラスチック・スマート推進宣言」の取り組み

9/28 11/5

東北大学ではプラスチックごみによる海洋汚染問題を考え、ワンウェイ(使い捨て)のプラスチック容器包装・製品のリデュースによる使用削減を実現するため、2019年3月に「プラスチック・スマート」の推進を宣言しました。東北大学基金では、その取り組みの一環であるマイバッグ・マイボトル持参の推進プロジェクトとして寄附付き商品のスマートエコボトルの販売を開始しました。

2019年度は255本を販売。東北大学生協より東北大学基金に45,676円寄附されました。



2020年2月

- 「スタディアブロード奨学金」(SAP・FL)*の実施
※SAP(スタディアブロードプログラム) 43名(7~8万円)
FL(ファカルティレッド) 2名(8万円)
合計で45名に7~8万円(地域により異なる)を助成
- 第4弾クラウドファンディング『心の病がある方もない方も共有できる体験を。『春の茶会』継続へ』を実施(2/14~3/25) >> P08
- 特定基金「東北大学萩友会支援基金」を設置 >> P07
- 特定基金「東北大学学友会支援基金」を設置 >> P07
- 特定基金「薬学部・薬学研究科 薬学教育研究支援基金」を設置
- 「新型コロナウイルス(COVID-19)対策支援金」を期間限定で募集開始

2020年3月

- 特定基金「流体科学研究所 流体科学支援基金」を設置
- 特定基金「未来科学技術共同研究センター 産業創出支援基金」を設置
- 特定基金「原子力災害からの復興に向けた研究支援基金」を設置

「THE世界大学ランキング日本版2020」東北大学が初のトップに

イギリスの高等教育専門誌「Times Higher Education (THE)」は、ベネッセグループとのパートナーシップに基づく「THE世界大学ランキング日本版2020」のランキング対象となった278大学を発表。ランキング指標は「教育リソース」「教育充実度」「教育成果」「国際性」の4分野で構成され、総合ランキングで東北大学が前年3位から2つ順位を上げ、初めて1位となりました。



東北大学基金事務局

〒980-8577 仙台市青葉区片平2丁目1番1号 TEL:022-217-5058/5905 FAX:022-217-4818
E-Mail:kikin@grp.tohoku.ac.jp URL:<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kikin/>

 **0120-279-514** (つながり 意思)

